

大戸川ダム環境調査計画書(案)に対するご意見と、ご意見に対する考え方

No.	大戸川ダム環境調査計画書(案)に対するご意見	ご意見に対する考え方
1	流水型のダムにおいては、降雨等の状況によって貯水量が変化すると思いますが、貯水量の変化に伴って地下水や地盤への影響はないのでしょうか。	貯水量(貯水位)の変化に伴う地下水の変動による周辺地盤等への影響(地すべり等の可能性)については、環境調査とは別に必要な調査検討を行うこととしております。
2	調査項目に地下水や地盤が含まれていないようですが、環境調査の結果報告の段階では調査に含まなかった理由を図書に記載いただきたいと思ひます。	貯水量(貯水位)の変化に伴う地下水の変動による周辺地盤等への影響(地すべり等の可能性)については、環境調査とは別に必要な調査検討を行うこととしております。
3	また、その他の調査に含まれなかった項目があるようであれば、その調査に含まなかった理由を図書に記載いただきたいと思ひます。	調査項目については、大戸川ダム建設事業の事業特性と地域特性を踏まえ、環境影響を及ぼすおそれがある要因(影響要因)とその影響を受けるおそれがあるとされる環境要素の組み合わせにより、適切に選定しました。
4	環境調査計画書(案)p5表5.1-2調査概要、及びp8 5騒音・振動のp9 5.2.3調査地点に記載されている「大気環境(騒音・振動)」について、測定地点が騒音は2地点、振動は1地点とされている。評価を行う上で、測定地点を増やすべきではないか？	調査地点は地域を代表する地点として最も条件の厳しい地点を選定しています。 騒音については、工事用車両の通行による影響の予測に必要な騒音の状況(特に交通騒音)の調査地点として、工事用車両の通行ルートに沿道で事業区域に最も近い住家等が存在する大津市道東1213号沿道と、建設機械の稼働による影響の予測に必要な騒音の状況(一般環境騒音)の調査地点として、事業区域に最も近い住家等が存在する信楽町黄瀬を選定しております。 振動については、工事用車両の通行による影響の予測に必要な振動の状況(特に道路交通振動)の調査地点として、工事用車両の通行ルートに沿道で事業区域に最も近い住家等が存在する大津市道東1213号沿道を選定しております。
5	同じく、特に振動について1点では、不足ではないか？	振動については、事業区域に最も近い住家等が存在する信楽町黄瀬において、特に振動を生じさせる事象が確認されていないことから、調査の対象としておりません。
6	同p5及びp54 5.9に記載されている「人と自然とのふれあいの活動の場」について、5.9.3調査時期が春季、秋季の2季となっているが、水辺に親しむ季節である夏季での調査は必要ではないか？	事業実施区域及びその周辺区域では、ハイキングコース等の利用により、夏季よりも多くの利用者が見込まれる春季、秋季について、調査を行うことにより、夏季の工事による影響対策も検討できると考えています。
7	大戸川ダムは、紆余曲折の末に進み出した事業であることから、早期の完成が望まれる事業です。そのため、網羅的に調査を行う必要はなく、環境影響評価等の評価から長い期間が経過してということと、流水型ダムに変更になったことを中心に、メリハリを利かして真に必要な項目に絞り込み、早期に調査を終えて頂くようにお願いします。	環境の保全について適正な配慮がなされるよう、必要な環境調査を着実に実施します。
8	「人と自然のふれあいの活動の場」「伝承文化」について質問します。 ダム区域は、ダムにより移転された方々が生活する中で人と自然が触れあってきた所です。このような良好なふれあいの活動の場を保つダムづくりを実施する必要があるのではないのでしょうか？ 特に移転された方々には当時を思い出せる工夫や、当時の状況を知らない人たちにとってもこの地区での新たな気づきが生まれる工夫も必要なのではないのでしょうか？ ダム周辺の地域に密接に関連する伝承文化の状況やこれまでの歴史をふまえ、地域から親しまれるようなダムにするべきだと思います。そのためには詳細な地域の歴史や伝統文化について十分な調査をお願い致します。	調査計画書に基づき、地域の歴史や伝統文化について十分な調査を実施します。